

《2022-2023年度主題》



国際会長 K・C・サミュエル(IND)
 “Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT”
 アジア太平洋地域会長 チェン・チ・ミン(TWN)
 “Elegantly Change with New Era”
 東日本区理事 佐藤 重良 (甲府21)
 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
 湘南・沖縄部長 小松 仲史 (厚木)
 「楽しく・元氣よく・前向きに」
 クラブ会長 今城 高之
 「楽しく、なにはさておき楽しく！」

2022-2023 クラブ役員
 会長 今城 高之
 直前会長 辻 剛
 書記 岡田 美和
 会計 横田 孝久

今月の聖句

「わたしは、自分の置かれた境遇に満足することを習い覚えたのです。
 貧しく暮らすすべも、豊かに暮らすすべも知っています。満腹していても、空腹であっても、物が有り余っていても不足していても、いついかなる場合にも対処する秘訣を授かっています。」

フィリピ4・11-12

9月本例会

日時 2022年9月23日 (金) 17:00～
 場所 夢Café (みんなの家)
 (センター北駅バスターミナル添い)
 司会:今城宏子 受付:鈴木恭子

～プログラム～

- 1) 開会点鐘 今城T会長
- 2) ワイズソング・ワイズの信条唱和
- 3) 今月の聖句と祈祷 相賀チャプレン
- 4) ゲスト・ビジター紹介 司会
- 5) 会長挨拶 今城T会長
- 6) 卓話 玉川 和義さん (本文参照)
 演題: 身近なボランティア
- 7) 協議・報告事項
- 8) YMCA報告
- 9) Happy Birthday
 ※該当者なし
- 10) アピール・スマイル
- 11)

《巻頭メッセージ》

クラブ会計 横田 孝久

医学が進んだ現代で医療環境も整ったはずの先進国においても、何故これほどのパンデミックが起こったのでしょうか。このウイルスは報道でもあるようにまさに「新型」であって、感染力の強いものだったからパンデミックが起こったし、人類が今まで出会ったことがない未知のウイルスであったと言われていています。今まで戦ったことのない敵に勝つのが難しいのはどんな戦いでも同じだと思います。未知の敵にはどんな作戦が有効なのかわかりません。したがって今のコロナのように感染の拡大を防ぐ手立てがなくて、パンデミックになってしまう可能性が高いと考えます。



どうも今回のウイルスは同じ「新型」でもたちの悪い敵のようです。しかし、コロナと戦うと言っても、果たしてどのような敵なのか、もともと見えない敵にたいして勝利とは……。インフルエンザ的な扱いで一応の勝利とするのでしょうか。

もともと人間の身体には、外から侵入してきた細菌やウイルス（抗原）に対して、「抗体」という物質を作り出して、それを血液中に分泌して防御する働きがあります。抗体は、外部からの侵入者が身体の中で勝手に振る舞うことのないよう、捕らえて排除する役目を担っています。ですから、抗体が効いているうちは、再びその病気にかかることはないと言えます。外部からの侵入者に対して抗体の産生を促し、身体を守る機能を「免疫」といいますが「疫病」を「免じる」働きという意味と理解しています。そこで、それに対応できるワクチンの開発に躍起になりますが、開発は一朝一夕にできませんのでなかなか収まりません。治療薬もしかりです。私たち人間がこの地球で存続するために地球環境をきれいにすることが、自らの肺細胞を生きやすくし、結果的に肺を守ることに繋がって、免疫力を強くして、自ら治癒できる可能性を期待することは、もしかしたらこの新型コロナウイルスは、より強い人類への新たな進化を促すのかもしれない。

もう一つ思う事は、未知の感染症事態は、国や民族を超えた人類全体の大きな節目になる出来事であって、地球規模の協力体制が整わなければ対応できないと思います。だから国際的な協力体制を構築することだともいえます。この地球上では現在もウクライナ問題、アフガン問題、ミャンマー問題や貧困問題など様々な問題ばかりですが、私たちが再び協力し合うチャンスとも捉えて、Y'sの活動やYMCA活動が世界の活動であることから、一致団結して平安を願って奉仕できる事を探って行くつてはありませんか。 (完)



《今月の卓話》

9月本例会での卓話は、地域でボランティア活動をされている 玉川 和義さんにお話し、「身近なボランティア」と題して、日々のボランティア活動を通して得られた様々なご経験につき語って頂きます。我々の活動に役立つご示唆、ご助言を頂けるものと期待します。

～玉川さん略歴～

1956.4横浜生まれ、66歳
神奈川県立横浜翠嵐高等学校、早稲田大学教育学部数学科卒
1980.4横浜市立学校事務職員として新採用され
上白根中学校着任
1982.4横浜市立老松中学校に教員として着任
その後、旭北中、寺尾中、緑小、新田中、あざみ野第一小、川和東小にて教員を歴任

2017.3定年退職

2018年度より各種ボランティア活動開始；

- ・小中学生学習生活支援、
- ・ラグビーワールドカップ
- ・いわき市災害復旧
- ・東京オリンピック
- ・通学路見守り
- ・小学校特別支援教育支援員、など
- ・現在、民生委員児童委員

《今月のお仕事会》

これまでも何度か本誌上で報告しましたが、今月もクラブのお仕事会TKB (Tsunami Kawaii Bachans) が開催され、常連のクラブメンバーに加え、助っ人の近くの教会のメンバーさんも加わって10人が集まりました。お仕事会の内容は、東日本大震災の被災地にある老人施設と保育所に届けるバースカード作りで、毎月のお誕生会に届くよう手作りで準備しお届けしています。せせと手を動かしながらのおしゃべりも大切なプログラムの一つで、コロナ禍による憂さも少しは晴れたのではないのでしょうか。



～あなたとわたし、障がい児・者ととともに～

第10回記念 You & I コンサート

※誰もが楽しめる、バリアフリーのクラシックコンサートです。
※車いす専用席も用意しています。

日時 2022年11月12日(土) 13:00開場 / 14:00開演
会場 横浜市都筑公会堂 (横浜市営地下鉄センター南駅より徒歩6分)

出演 横浜室内合奏団・歌劇団 (代表：佐藤 大祐 氏)

曲目 アイネ クライネ ナハトムジーク第一楽章 / モーツァルト
主よひとの望みの喜びよ / J.S.バッハ
悲愴第二楽章 / ベートーベン
そりすべり / L.アンダーソン
アペリア / カッチーニ
アラジン / Aメンケン
歌劇「桃太郎」 / 小岩悦也作曲、佐藤大祐台本

《主催》
You & I コンサート運営委員会
●NPO法人 アーモンドコミュニティネットワーク
●NPO法人 アスタPC
●NPO法人 みんなの家
●横浜YMCA
●横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ

《後援》
横浜市教育委員会
横浜市都筑区
都筑区社会福祉協議会

チケット情報

障がい児・者 500円 (付添い1名無料)

一般 1000円 (小学生以下無料)

中・高生 《予約申し込み先》

横浜北YMCA You & I コンサート係
Tel. 045-433-4321 ※当日券もごさいます

※このコンサートは、都筑区社会福祉協議会による善徳銀行配分金、横浜YMCAチャリティーラン支援金の助成を受けて実施しています。
※新型コロナウイルスの感染拡大等不測の事態により開催中止の際は、都筑公会堂WEBサイトの「イベント情報」にその旨掲載いたしますのでご注意ください。

= 会長のひと言 =

朝夕の涼風にはあったかぬ間、日中は30度を超える日が続きなかなか気を許せません。当クラブのメインイベントである“You & I コンサート”は2019年9月の第9回を最後に久しく途絶えていましたが、今年はコロナ対策に万全を期して、記念すべき第10回目を11月12日に開催すべく準備を進めています。過去9回の開催により、地域社会では徐々に認知され、次回を楽しみに待ってくださっている方々もおられるようになっていたので、二年間のブランクは大変寂しいものでした。初回から9回目まで、常に素晴らしい音色を奏でて下さり、また、楽しいオペレッタで会場のちびっこを沸かせてくれた「横浜室内合奏団・歌劇団」を本年もお招きして行います。コロナ禍が小康に向かい、楽しい時間を大勢の方々と分かち合えることを大いに期待しています。クラブメンバー全員で力を合わせることで得られる結束感、地域の他のボランティア団体との協働の喜び、ワイズのメンバーやYMCAのスタッフが駆け付けて支援してくれることからの連帯感等々、かけがえのない成果をもたらしてくれています。子どもたちの笑顔を再び見ることが出来ることを、今から楽しみにしています。(左が今回のチラシです) (完)

《第95回 Y-Y's協議会開催》

去る9月6日(火)19:00より、担当の金沢八景クラブ山田一男会長司会の下、95回目のY-Y's協議会がZoom形式で開催され、当クラブからは、鈴木S、辻Ts、今城Tの3名が参加しました。会の概要は以下の通りです；

- ・ 開会礼拝では担当主事による聖書朗読（フィリピの信徒への手紙2章12節）と祈祷が行われた。
- ・ 冒頭挨拶に立った佐竹横浜YMCA総主事は、YMCAとY'sがかくも長期に渡り、定期的に協議会を開催している例は他にはなく、双方の努力に敬意を払う旨述べられた。
- ・ 所用で出席が遅れた湘南・沖縄部小松部長も同様に、YMCAとY'sの協働が素晴らしい成果を上げていることに関し、先般の、エイズ文化フォーラムが盛会裏に当初の成果を上げたことを報告した。
- ・ 引き続き協議に入り、横浜YMCA担当主事より、今年度のインターナショナルチャリティーランの進捗状況についての報告があった。それによると、今年度は、コロナ感染防止の観点から、臨港パークでのリアル開催と、昨年同様、歩数を記録する個人単位の参加が見込まれているとの報告があった。リアル、個人共に参加者募集が進んでおり、ほぼ目標達成の見込み。
- ・ エイズフォーラムは、コロナとの共生の時代に向けての様々な新たな動きが報告されたとのこと。

- ・ 9月23日に開催のYMCAフェスタが紹介された。従来のビーチバレー大会がコロナのため開催できないかわりに、新しいプログラムが計画されている。YMCAのホームページからアクセス可。
- ・ 近く開催の、Y's東日本区肝いりのユースボランティアリーダーズフォーラムにつき、横浜YMCAからの14名の参加リーダー（リーダー歴6か月以上2年未満のリーダー）には、鈴木茂ワイズ（YMCA常議員会議長）が講師になってのオリエンテーションが行われる。なお、次回のY-Y's協議会の際出席したリーダーの報告が行われる予定。
- ・ 次回は当クラブ担当で12月6日(火)19:00～20:30に開催されることを決め会は終了した。（今城T 記）



《クラブ事務例会報告》

日時：2022年9月13日17:00～

場所：田園都筑教会

開催形式：ハイブリッド

出席者：今城T・H、岡田、鴨下、鈴木K・S、横田
(Zoom) 辻Ta・Ts、大野 (合計10名)

～議事概要～

- 1) 開会点鐘、黙禱の後会長より開会の挨拶があった。
 - ・ コロナの勢いは衰えないが、注意を払いながら、様々なプログラムの展開を図りたい。
- 2) 協議・確認事項
 - ① You & I コンサート
 - ・ You & I コンサートは本格的な準備を進める。
 - ・ チラシが完成したので、各自が活用に努めるとともに、諸方面に配布して活用を促す。
 - ・ 配布先一覧を更新する。
 - ・ 9/23に運営委員会の初回会合を開く。
 - ② 秋の移動例会について
 - ・ 10月28日の本例会を移動例会とする会長提案が了承された。

- ・ 横浜YMCA三浦GEV訪問を軸に、三浦半島方面への日帰りバス旅行として準備を進める。
- ・ 友人、知人を誘うほか、つるみクラブにも呼び掛けて合同移動例会の可能性を模索する。

③9月本例会（9/23日 @夢Café）

- ・ 地域のボランティア活動家（玉川和義さん）を招いて、ボランティア活動の体験をお聞きする。
演題は、「身近なボランティア」

3) YMCA報告

◇9/11に三浦GEVシーサイドで大人13名が参加してキャンプを開催。

4) 今後の予定

- 9/21 みんなの家 “Poppy”例会
- 9/23 YMCAフェスタ
- 9/27 みんなの家 “COCO”例会
- 9/26 エクステンション委員会
- 9/29 エクステンション委員会

5) 黙禱・閉会点鐘で閉会

《連載寄稿》

恥ずかしのワイン蘊蓄 ～12～

横田 孝久

以前にフランスのワインには国立原産地名称研究所によって施行された格付けがある事を記した記憶があります。ボルドーの格付けがシャトーごとに行われているのに対して、ブルゴーニュは土地に等級が与えられています。ちなみにブルゴーニュは、グラン・クリュも、プルミエ・クリュも呼称を持つ畑が複数の区画に分かれていて、それぞれ持ち主が異なります。いずれも一面に整然と並ぶ葡萄の木、それでその畑の間には堀がたつわけでも、名札がでていることもありません。

「神に愛される村」と讃えられるボオーヌロマネ村には「リシュプール」や「ロマネサンビイバン」などの醸造所があります。ブルゴーニュのワインは葡萄の育った土の性格を受け継いで生まれるものだそうです。この地方はかつてのブルゴーニュ公国の都ディジョンを中心に広がり、中世にシトー派の修道院の力によって開墾されたものが多く、領土であったベルギー・オランダ・スイスにまで及びました。百年戦争の後、フランスで華麗な宮廷文化を開花させたブルボン王朝の食卓に供されたのはこのブルゴーニュ・ワインでありました。

何度も記述してきましたが、ブルゴーニュ・ワインの特徴はボルドーと異なり、単一のブドウ品種を使っていることです。白ワイン用としてはシャルドネ種など、赤ワイン用にはピノ・ノワール種などが使われて、男性的な力強さを感じさせ、先に述べたように単一種でありながらその土地その土地の質によって多彩な複雑なワインになっていることです。小さい村の小さい畑が多いので所有者や醸造家も多くいてそれぞれ味も異なるので優良なワインを選ぶことができるのです。

まず、ディジョンの北西150キロでパリから南下して最初に出会うのが「シャブリ」です。ここは貝などの化石が混じる土壌にシャルドネ種が栽培され、極めて繊細で辛口の白ワインを産出しています。ここでも特級指定から猫の額のような小さい畑まであって、それこそ飲み比べるには大変な時

間とおこづかいが必要です。しかし、キンキンに冷やした辛口はピンキリであっても本当に美味しい。

次は、ディジョンからボージョレイあたりまでの50キロの斜面にひろがる、いわゆる黄金の畑といわれるのがコート・ドールで、秋にはブドウの葉が紅葉して黄色に斜面が染まることと、この銘醸畑を黄金ということでそう呼ばれ、ブルゴーニュ・ワインの心臓部です。ニオイ・サン・ジュルジュを中心とするコート・ド・ヌイ地区、ボオーヌを中心とするコート・ド・ボオーヌ地区は皆様もご存じだと思います。ま！びっくりするほどの多くの畑があって、畑ごとにワインの性格が異なっています。特級・一級・村名表示と細分化されそれぞれ格付けされています。ただ、ややこしい事もあります、先月号で記したジュブレ・シャンベルタンは村名AOCで、シャンベルタンは特級畑名のAOC。評価は畑名AOCであるシャンベルタンのほうが上になります。とてつもなく、びっくり価格です。このワインはナポレオンが愛飲、ルイ15世の妾さんのポンパドール夫人と争って、コンティ公が獲得した生産量が極端に少ない銘酒ロマネ・コンティやシトー派の修道院によって造られたモンラッシュという白の辛口ワインがあります。



1945年のロマネコンティ 558,000ドルの値が付いたとのこと。

今月は自分が飲んだブルゴーニュ・ワインの経験談なんて言うておりましたが、ブルゴーニュ・ワインの解説になってしまいました。ワインを語るには本当に紀元前からの歴史などの知識を勉強しながら、なんて、めんどくさい事になってくるので、正直にはそんなことは関係なく、何でも美味しく飲めばいいのと思いつつ、それこそ蘊蓄になってしまって後悔しています。しかし、それほどワインは物語があるので、ご理解ください。

本当に今月は失礼しました。と言いつつ、ビールのあとは昨夜残したボルドーワインを飲んでいます。

次号が心配です。 (2022.9 完)

《ちょっとお目を拝借!》

東大教授でドイツ文学者である池内紀（イケウチオサム）先生の著書「すごいトシヨリbook」（2017年）なる本に出てくる“老化早見表”（右の内容）を友人が送ってきました。Amazonの書評を見ると、読めば年を取るのが楽しくなる本、とあるので急ぎ注文しました。表を見るに、名前が出てこないのは初歩、人の話を横取りする、せかせか焦る、整理整頓に励む、過去を作り替える、等々、より進むと過去を作り替えたことさえ覚えていないそうです。若干意味不明のものもありますが、ほとんどが身に覚えがあるなあと感心させられます。（TI）

老化早見表

カテゴリ1	忘却症
カテゴリ2	年齢執着症 ペラペラ症 失語症 指図分裂症 過去捏造症 記憶脱落症
カテゴリ3	失名症 横取り症 同一志向症 整理整頓症 せかせか症 過去すり替え症

北 Y 便り

副館長 太田聡



早いもので、4月から横浜に来て6か月目を迎えています。ふり返りますと、新しい出会いやチャレンジなど、様々な出来事がありました。ここでは、御殿場にあるYMCA東山荘で実施したDigital DETOXジュニアユースキャンプについてお話いたします。

近年、ニュース、エンタメ、SNS、オンライン研修会等、ほとんど全ての場面でインターネットやスマホを使用しています。手軽で便利ではありながらも、止められない、日常生活に支障が出るなど「依存」が社会問題となっています。



厚労省の調査では、中高生の10%以上が依存傾向にあると言われ、休日は20%以上が5時間以上インターネットを使用しています。

このキャンプでは、久里浜医療センターの三原聡子先生にご協力をいただき、スマホ・ゲーム、インターネットとの上手な付き合い方について学びました。



「依存症」は、「依存行動」+「問題行動」がセットになって

初めて診断されます。エンジェルス大谷選手は野球中心の生活を送っており、見方によっては依存的行動ととらえられても、問題行動が出ていなければ「依存症」とは診断されません。そして、依存症にならないためには、他に趣味をもったり、運動したり、ストレスの解消方法を別に持つことが大事になります。



参加した中高生は、各自の生活を振り返り、どうしたらよ

いかを話し合い、それぞれに目標を決めました。そして2泊3日の残りの時間をスポーツ、鉄道旅、キャンプファイアなど



リアルな仲間との体験を通して過ごしました。

YMCAは産業革命時代の英国で、社会課題に対する青年等による地域社会をよくなる運動として始まりました。170年以上経った今でも、地域社会が抱える課題にアンテナをはり、関連機関、ボランティアと協働したYMCAらしい取り組みを進めていきたいと考えています。 (了)

8月は例会開催がなかったため記録なし。

例会出席者		在籍会員数	
メンバー		月間出席者	
ビジター		メーキャップ	
ゲスト		月間出席率	
各種記録	当月実績	年度累計	
スマイル		11,000円	

▽今年の8月も。かつてのように暑気払いのBBQなどもできず寂しいものでした▽いよいよ秋のシーズン到来。9月例会は卓話。10月は移動例会、11月はコンサートが計画されています。ようやく活気づいてきたような気がしますが、どうなるのでしょうか。万全のコロナ感染防止で頑張りましょう▽10月4日には、センター南駅前で、恒例の赤い羽根募金活動を行います。これも秋を感じる行事です。是非一緒に声を上げるか、募金を投じて頂くか、よろしく願います▽横田ワイズ寄稿のワイン物語が連載12回となります。毎回お読みくださる方も多いようです。そろそろ単行本化も考えるかな！ (編集子)

〇〇〇編集後記〇〇〇



《あの頃のこと》

You & I コンサート

～あなたとわたし、障がい児・者とともに～

本年11月12日に開催予定の“You & I コンサート”は、第1回目が2011年7月2日に、我がクラブの創立5周年記念行事として行われ、その後、2019年9月の第9回コンサートまで毎年開催されて参りました。2020年秋には記念すべき第10回目のコンサートを開催すべき準備を進めましたが、コロナ蔓延により休止を余儀なくされて現在に至っています。

我がクラブの大切なイベントであるコンサートですが、今や、参加経験のない新しい会員の方もおり、どんなコンサートなのだろう、どうしてクラブがコンサートを運営するのだろう、といった疑問をお持ちのことと思ひ、誌面に余裕あることもあって、コンサート立ち上げ当時のことを少し紹介いたします。

我がつづきクラブは2006年5月に設立され、2011年に創立5周年を迎えました。創立5周年記念事業を行おうと思ひ立ち、皆で知恵を出し合い検討しました。幾つか提案されたプロジェクトの一つが、障がい児・者に寄り添う思いを込めた「バリアフリーのクラシックコンサートの開催」でした。少し前にスタートした大和YMCAによる同様コンセプトの『輪和Waコンサート』に刺激を受けたメンバーの何人かが提案したものでした。検討の結果、同様のコンサートを開催しようということになり、“You & I コンサート”～障がい児・者と共に～と命名し準備を開始しました。先ず、『輪和Waコンサート』に出演しておられた横浜室内合奏団（佐藤大祐代表）に出演を求めたところ快く賛同いただくことが出来ました。また、我々だけでは手に余ると思われたのと、出来るだけ多くの人たちを巻き込みたいとの思いから、日頃からお付き合いのある、地域の障がい者支援関係団体やYMCAに呼びかけて参加していただき、「You & I コンサート運営委員会」を立ち上げ、地域ぐるみで準備にかかり、2011年7月2日に第1回コンサートを開催することとなりました。その間、横浜市教育委員会、横浜市都筑区、都筑区社会福祉協議会などにもお願いしてご後援頂くことになりました。これは後ほど、関係機関などに案内チラシを配って頂くようお願いする際大いに力を発揮しました。

いよいよ、開催予定の7月2日を迎えました。慣れないことでもあり大わらわといったところではありましたが、多くの方々のご支援もあり、素晴らしいコンサートが行われました。障がいのあるなしに関わらず、子どもたちが、名曲には耳を傾け、楽しい曲には手を叩いて大喜びする姿こそ、我々が期待していたことだと感じました。その年の3月11日には、東日本大震災が発災し、各地で甚大な被害が発生しました。急遽、会場内で被害者支援の募金活動を行うこととなり、YMCAにお願いして幟旗や募金箱を用意して頂き、来場の子どもたちにも手伝ってもらい募金活動を行いました。これはこのコンサートのプログラムの一つとして、毎回続けてきています。

小さなクラブの小さな思いが、みんなの手が次第に膨らみ、今や、大勢の人が楽しみに待っていてくれる行事に育ちました。コロナの威力は未だ衰えていない中、果たして第10回目の記念すべきコンサートが開けるかどうか、不安もありますが、しっかりと準備を進めて参りたいと思っています。（運営委員会事務局）



※写真は異なった年度のものが混ざっています。

